

芝高 SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

新潟県立新発田高等学校

平成26年4月30日
第8号

いよいよ平成26年度がスタートし、「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」も2年目を迎えます。今年度もSSHに関わるたくさんの学習活動が予定されています。中でも2年生の普通科で実施される「ESD 探究」や2年生の理数科で実施される「SS 探究」や「マレーシア研修」は今までにない初めての大きな試みであり、今後の芝高SSH事業の目玉となっていくものです。では平成26年3月からこれまでに実施された主なSSH関係の取り組みを紹介しましょう。



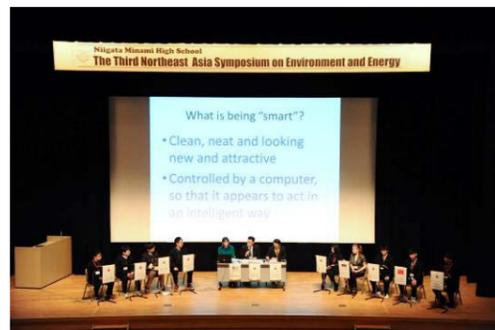
自然科学部 研究成果をポスター発表

3月9日(日)朱鷺メッセで、新潟大学理学部主催の「目指そう未来の科学者研究発表会」で、自然科学部生物班の2名と、数学班の1名が1年間の研究成果をポスター発表しました。研究内容は、生物班からは「珪藻化石の側面に見られる微細構造の観察」(発表者 加藤茉佑)、「電子顕微鏡による沢根層の有孔虫の観察」(発表者 福田勇太)、数学班からは「正則連分数展開からみる π 」(発表者 高橋拓巳)の3本でした。研究成果を、わかりやすく興味深く説明することができ、数学班のポスターでは優秀賞を受賞しました。なお、発表したポスターはスクールモールに掲示してありますので、是非ご覧ください。



北東アジア環境シンポジウム

3月21日(金)に新潟南高等学校による「北東アジア環境・エネルギーシンポジウム」が新潟ユニゾンプラザで実施されました。このシンポジウムはそのタイトルからわかるように、北東アジアの高校生たちと英語で環境とエネルギーについて討論したり、環境やエネルギーに関する課題研究を英語で発表するという企画で、今回で3回目になります。芝高の自然科学部とESSも参加しました。

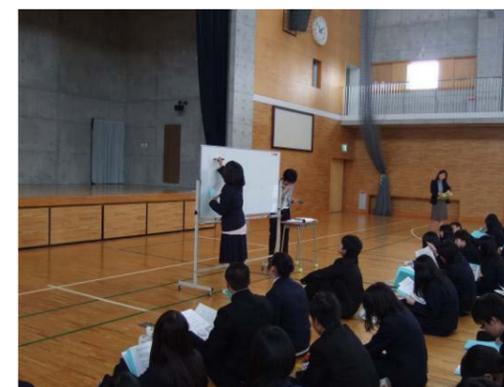


今回のシンポジウム参加のお話をいただいたとき、自分を試す非常によい機会だと感じました。というのも、私は2年生になってから積極的に英語を使うように心がけてきたからです。そして実際に参加してみて、英語をツールにアジアの人たちと真剣に将来の世界を議論できたと実感し、それと同時によりいっそうこの世界をよい方向へ変えていこうという思いが強くなりました。

3年2組 高橋 拓巳 (パネルディスカッション参加)

ESD 探究

今年度4月から科目 ESD 探究が2年生普通科でスタートしました。その目標は「課題を自ら設定し、調査、観察・実験などを通して研究を行い、問題発見力・問題解決力をつけるとともに、創造性の基礎を培う。」と「研究の内容をまとめ、発表し、内容の理解をより深めるとともに、持続可能な社会構築を担う人材に必要なコミュニケーション力・表現力をつける。」です。4月16日(水)の午後に大体育館で「ESD・持続可能社会とは」についての説明があり、その後理系と文系に分かれて「課題研究」についての説明がありました。12月には「分野別発表会」が予定されています。楽しみです。



2年理数科長岡高校 SSH 課題研究発表会

4月19日(土)に長岡技術科学大学で長岡高校によるSSH課題研究発表会が実施されました。芝高の2年理数科の生徒は発表を聴講しました。本校理数科生徒もSS探究Iという科目で課題研究を実施します。研究内容や発表が素晴らしいものになってくれることを期待したいですね。

芝高 SSH 当面の予定

- 5月
- 16日(金) 理数基礎調査 (全校生徒)
- 7月
- 15日(火) 「地域の俊傑」講演会 (1年普通科)
- 23日(水) 地学臨地研修 (1年理数科)
- マレーシア研修事前研修 (2年理数科)
- 28日(月) 新潟県SSH課題研究発表会
- 28日(月)~30日(水) 全国高校総合文化祭大会研究発表 (自然科学部物理班発表)

○芝高メールアドレス
school@shibata-h.nein.ed.jp
○芝高ホームページ URL
http://www.shibata-h.nein.ed.jp/